

福井新聞 平成24年 9月27日

(有) 内田燃糸

車いすタイヤに冬場装着

滑り止めベルト開発

内田燃糸(福井)発売へ

消費者の声受け製品化

燃糸加工の内田燃糸車いすタイヤ専用の滑り止め製品は世界でも例がないという。苫小牧高専(北海道)に委託した実証実験では、通常のゴムタイヤに比べ氷の上での摩擦抵抗が2倍に向上。冬場の路面凍結時でもゆつりとした走行が可能になる。

同社が靴底用の滑り止め商品として特許を取得した、ポリプロピレン系の繊維に天然ゴムを織り込んだ特殊複合織物を活用した。同社によると、

内田燃糸が開発、披露した車いすタイヤ用の滑り止めベルトは26日、福井市の福井商工会議所ビル



昨春、靴用の同社商品を使った奈良県の女性から「北海道の雪景色

を車いす生活の娘に見せてあげたい。車いす用の滑り止めもできないか」との依頼を受けたのが開発のきっかけ。試作品を使ってもらいながら改良を重ね、製品化にこぎつけた。

伸縮性のあるリング状の構造で、車いすのタイヤ部分にそのまま覆いかぶせるように手軽に着装できる。冬用タイヤへの交換なら作業に30分程度かかっていたが、同製品なら2〜3分で取り付けることができ、利便性を高めた。

「おでかけリング」と名付け、色別に6種類、

3サイズがある。価格は1万2600円。国内の病院や福祉施設などに順次販路を広げ、海外にもPRしていく。